



イマジン  
ロータリー

2022～2023年度

滝川ロータリークラブ

会長 藤井 謙和

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：takikawarc@gmail.com
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3337回 例会報告 令和5年3月30日 (木)

会長挨拶



年度末を迎えた本日はとても暖かくなりやっとな冬から解放された気分でございます。いよいよ4月1日のIMが迫り、宮崎実行委員長を始めとする各部会の皆さんには連日準備をして頂きありがとうございます。さて、先程先日お亡くなりになられました坂本直前会長へ哀悼の意を表し黙祷を捧げましたが、昨年の今頃はこの席で会長挨拶をされていたのでもう二度とお会い出来ないと思うと未だに信じられません。坂本会員はお酒と野球が大好きでいつも穏やかに皆さんとお話されていた事が思い出されます。人の寿命は決まっていると申しますが、やはり命ある限り健康に留意する事が大切だと思いますので皆さんも日々の生活に気を付けて頂きたいと思えます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

幹事報告



1. 坂本直前会長の事を思い出すとお付き合いは短かったんですが、野球同好会を始め色々な形でお付き合いをさせて頂きました。怒った所を一度も見た事がなく、大きな声で笑ってる姿しか印象に残っておりません。心よりお悔やみを申し上げます。

2. 芦別・羽幌・留萌RCより例会プログラムと会報が届いております。

前回のプログラム (2)

実際にスキルアップセンター空知様にて木のおもちゃ作り体験をさせて頂いたり、奈井江町の太田精器様にて「モンスターウルフ」を中心にした企業視察を行いました。それから、高校生との交流ということで企画運営を滝川西高校の生徒に行ってもらい、滝川高校の生徒に学習内容や研究活動の発表を行って頂きました。一方ラオスの方々からは、気候、文化や学校紹介をして頂き、最後にラオスの伝統的な踊りを一緒に舞って交流を深めました。その後、日本文化体験と言うことで和紙による折り紙作製や雪を見るのが初めての参加者ばかりでしたので北海道の季節にも触れてもらう取り組みを行いました。ラオスの方々には日本の様々な技術や多くの人に触れた事に感謝し、名残惜しそうに帰国されました。コロナ以前より、インドネシアの高校生を日本文化体験という名目で2年連続受け入れたり、継続してこのプログラムを取り組む事によってこの地域の様々な資源が、アジアの色々な国で高い評価を受けている事業でございます。

前回のプログラム [ 講師卓話 ]  
 - 身近な国際活動を通じて理解を深める -  
 【国際奉仕委員会担当例会】



一般社団法人  
国際交流協会  
参与 阿部 孝志 様

本日は今年度実施をしている様々な事業の中からJENESYS事業に絞ってご紹介をさせて頂きます。まず、JENESYSの取り組みについてお話させて頂きます。JENESYSとは対日理解促進交流事業と申しまして、アジアを中心とした39の国と地域を対象に、高校生から社会人にかけての若い世代を招聘、派遣をする事業でございます。外務省が中心になり行っている事業で今年度は、招聘、派遣合わせて1700名、予算規模は10億円です。諸外国の優秀な青年を対象に日本に対する興味関心を向上させ、親日派と言われる青年を増やすという目標が明確な事業です。そこで、滝川はラオス人民民主共和国より21名の青年を受け入れました。ラオスでは、多くの日本企業が進出し若い世代の間で製造業を中心に日本企業への就職を希望する人が増加している現状を踏まえ、企業の人材確保のニーズを満たす事も考慮し「もの作り」、「科学技術」や「文化交流」の研修を行いました。

＼(^o^)／ニコニコBOX報告 (敬称略)

石黒安雅・入井浩樹・浮田 優・桜井寿紀・向井由延  
山田直登・鷲尾昌法<小計22,000円・累計1,459,050円>

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和5年04月07日

出席報告 3月30日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
88名	0名	6名	45名	43名	55%

- メイクアップ：入井会員 (3/18国際奉仕・VTT委員会 3/21米山記念奨学会修了式)  
鷲尾会員 (3/25会長工レクト研修セミナー)  
鷲尾会員・入井会員・上田秀司会員・浮田会員 (3/26PETS)

- ゲスト：一般社団法人 滝川国際交流協会  
参与 阿部孝志 様・事務局長 森田詠美 様